

冤罪に巻き込まれた人生を、あきらめない
真実をたぐり寄せる、ふたつの家族のストーリー
晴れる日を信じて苦難の道をゆく

うそがほんとに ほんとがうそに

監督 金聖雄

ドキュメンタリー映画 2025年 104分



『SAYAMA みえない手錠をはずすまで』、『袴田巖 夢の間の世の中』、『獄友』、『オレの記念日』に続く、冤罪シリーズ5作目

映画概要

石川一雄さん・早智子さん夫妻との出会いから冤罪をテーマにした映画を撮り続けてきた金聖雄監督。冤罪シリーズ5作目となる『うそがほんとにほんとがうそに』は、無罪が確定した袴田事件と、未だ再審の扉が開かない狭山事件の「うそ」と「ほんと」を見つめる。権力にあらがい、あきらめず前を向いて歩み続ける2つの家族。そのささやかな日常とおおらかな心に寄り添いながら、理不尽極まりない日本の司法の残酷さを浮き彫りにする。冤罪についてよく知らない人にも、わかりやすく親しみやすいヒューマンドキュメンタリー。怒りと希望、微笑みと涙が交差する104分。

監督 金聖雄 Kim Sungwoong

狭山事件が起きた1963年に大阪鶴橋で生まれる。2004年、在日コリアンのおばあさんの日常を描いた『花はんめ』で監督デビュー。『SAYAMA みえない手錠をはずすまで』(2013年)は『毎日映画コンクール』でドキュメンタリー映画賞、『オレの記念日』(2022年)ではドイツフランクフルト『ニッポン・コネクション』でニッポンドックス賞を受賞。時間をかけた取材、被写体に寄り添うあたたかな眼差しを大切に、理不尽な出来事と向き合っている。前作は『アリラン ラブソング〜海を越えたハルモニたち〜』(2023年)。

うそがほんとにほんとがうそに

企画・製作
Kimoon Film

出演：袴田ひで子 袴田巖 石川早智子 石川一雄

監督：金聖雄 撮影：池田俊巳 録音：青田茂一 編集：金聖雄 野村太
現場録音：池田泰明 ドローン撮影：木村利人 プロデューサー：康宇政
音楽：谷川賢作(作曲・ピアノ・コーラス) 小室等(ハミング・ギター)
河野俊二(パーカッション・コーラス) トリ音(テルミン) こむろゆい(コーラス)
録音エンジニア：ichiro

制作デスク：木原光晴 print media デザイン：加藤さよ子 print media：松井一志
公式サイト：若本慎史 スチール撮影：村田次郎 加藤春日

語り：北村有起哉

助成：文化庁芸術振興助成金(映画創造活動支援事業)
独立行政法人 日本芸術文化振興会

製作・配給：Kimoon Film

2026年/104分/日本/ドキュメンタリー映画
©Kimoon Film

応援団のみなさん

周防正行(映画監督) 鴨志田祐美(弁護士) 村山浩昭(弁護士) 鎌田慧(ルポライター)
神田香織(講談師) 小室等(音楽家) こむろゆい(歌手) 河野俊二(演奏家)
谷川賢作(音楽家) 大熊ワタル(音楽家) こぐれみわぞう(音楽家) ダースレイダー(ラッパ)
新田涉世(川崎新田ジム会長) 永田浩三(ジャーナリスト) PAK POE(ミュージシャン)
松元ヒロ(コメディアン) 沢知恵(シンガーソングライター) 李政美(歌手)
白崎映美(歌手) 金井真紀(文筆家・イラストレーター) 金子あい(俳優) 趙博(芸人)
中川五郎(フォーク・シンガー) ayako_Halo(音楽家) アン・サリー(シンガー・ソングライター・ドクター) ばくきょんみ(詩人) 南控控(絵と造形と詩とまめ蔵) 山田せつ子(舞踏家)
落合恵子(作家) 吉村喜彦(作家) 渡辺一枝(作家) 深沢潮(作家)
石原然(劇作家) くるみざわしん(劇作家) きむきがん(劇団石トル主宰)
太田昌国(民族問題研究・編集者) 西島藤彦(部落解放同盟中央本部 委員長)
宮子あずさ(看護師&コラムニスト) 順不同



関西特別上映 2026年11月7日(土) 13:30開場/14:00開演 **金聖雄監督** 舞台挨拶有り

J:COM中央区民センター(大阪市立中央区民センター) ※大阪メトロ堺筋・中央線「堺筋本町」駅西へ徒歩5分
会場費1,000円(学生・障害者・しんどい方無料) 主催 狭山事件の再審を実現しよう市民のつどいin関西実行委員会